

ステークホルダーの  
皆さまへ



**「エンタメ×テクノロジー」の力で  
日本を、世界を元気にする  
コミュニケーションサービスを創出します。**

株式会社ミクシィ  
代表取締役社長  
木村 弘毅

2020年6月23日をもちまして、当社株式の上場市場が東京証券取引所マザーズ市場から市場第一部へ変更されました。これもひとえに、これまで当社をご支援くださいました株主さまをはじめ、すべてのステークホルダーの皆さまのご厚情の賜物であると心より感謝申し上げます。

## 2020年3月期の評価

### 「モンスターストライク」の高い収益性を再認識

2020年3月期は、当社グループの主力サービス「モンスターストライクのリバイブ」と「スポーツ領域の事業成長」に注力し、確かな成果と手応えを得ました。

「モンスターストライク」は、周年カウントダウンキャンペーンなどユーザーの話題となるマーケティングを仕掛けることでMAU（月間アクティブユーザー数）を回復し、加えてTVアニメ「鬼滅の刃」など人気IPとのコラボや魅力的なキャラクター提供といった施策の効果により、下期においてはARPU（ユーザー1人当たりの平均売上金額）を向上することができました。また収支の改善に向けて、関連するアニメ、ゲーム、マーチャндаイジングの担当部門の連携強化など、社内体制の整備や広告宣伝費の効率化に取り組んだ結果、期初予想を上回る売上・利益を達成しました。

リリースから6年以上を経た「モンスターストライク」が今もなお愛され、世界累計利用者数5,300万人を突破し、高い収益水準を維持できているのは、他社のゲームではなかなか見られません。「モンスターストライク」が適切な施策によって高い収益が得られるブランドであると再認識できたことは、当社グループのさらなる事業成長への大きな自信となりました。



6周年カウントダウンキャンペーン

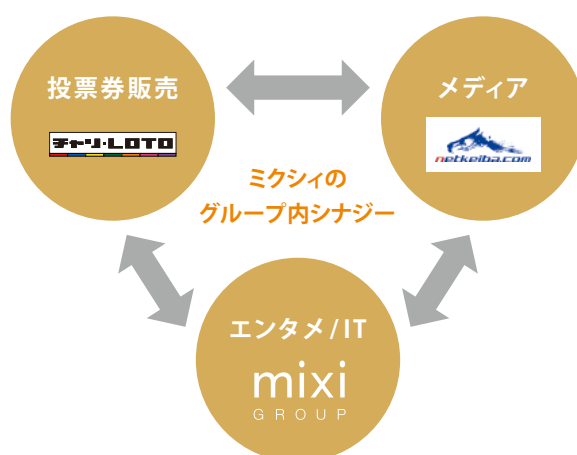


TVアニメ「鬼滅の刃」コラボ

## 将来に向けてM&Aを実施

「スポーツ領域の事業成長」については、将来の企業価値向上に向けたM&Aを実施しました。2019年10月には株式会社千葉ジェッツふなばしの株式を取得し、当社としては初めてプロスポーツチームの経営に乗り出しました。また公営競技ビジネスの推進を目的に、競馬関連で唯一無二のポジションを築くメディア「netkeiba.com」を運営する株式会社ネットドリーマーズをグループに迎えました。当社および前期に子会社化した株式会社チャリ・ロトの3社で、共同事業開発や周辺事業進出など、シナジーを生み出す新たなサービスの開発を進めております。さらにSNS「mixi」をはじめとするライフスタイル

事業でも、スマホフォトプリント事業でトップクラスの株式会社スフィダントを子会社化しました。同社の高品質なサービスと、家族アルバム「みてね」にアップロードされた多くの写真データという双方のアセットを組み合わせることで、「みてね年賀状」という新たなサービスも提供いたしました。引き続き、M&Aや出資などを駆使しつつ、ユーザーにさらなる付加価値を提供してまいります。



## 中長期の取り組み

当社グループは、「エンタメ×テクノロジーの力で、世界のコミュニケーションを豊かに」を中期経営方針としています。

注力事業ドメインをエンターテインメント事業に設定し、

成長市場であるモバイルゲーム市場と公営競技関連市場での事業成長を推進します。

「モンスターストライク」に次ぐ柱を確立することで複数事業による経営安定化を図り、企業価値の向上を目指します。

“複数事業による  
経営安定化を図り、  
企業価値の向上を”

## モバイルゲーム市場での事業成長

「モンスターストライク」については、10年先も愛されるブランドであり続けることを目標に、ゲーム企画やアップデートの質と量の向上、マーケティングおよびメディアミックス施策の綿密な連携により、ゲームの再活性化に取り組みます。加えて、外部IPとのコラボを展開しながら、収益のアップサイドを狙っていきたいと考えております。また、「みんなでワイワイ楽しむ」という「モンスターストライク」の本質的価値を体現する新しいゲーム体験を提供することで、引き続きリバイブを目指します。

新規ゲームの開発は、勝ち筋の見えた企画のみ、厳選して行ってまいります。成熟しているモバイルゲーム市場ですが、依然、巨大なマーケットは健在です。「新しい遊び」を提供することができれば、新たなカテゴリーを創出し、牽引できると考えております。

## 公営競技で第2の事業の柱をつくる

中長期的な成長を見据えた時、当社グループにとって重要な経営課題となるのが、「モンスターストライク」に次ぐ第2の事業の柱をつくり、経営の安定化を図ることです。新たな事業の柱へと成長させるべく、積極的に事業投資を進めているのが、スポーツ事業です。

様々なスポーツの中でも、当社グループが重点的に取り組む分野が、公営競技です。競輪や競馬といった公営競技は市場規模が大きく、成長率も高い魅力的な市場と言えます。そこに我々がエンターテインメント事業で培ったノウハウとIT技術を投入し、新たなエンターテインメントとしてリノベーションすることで、安定収益の柱に育てていきます。

加えて公営競技には、経済的な可能性のみならず、地域活性化につながるという社会的な意義もあります。すでに当社グループでは、人口減少やノウハウ不足に悩む各地の公営競技に対して、競技場の運営などといった支援を行っています。2020年4月には玉野競輪場（岡山県玉野市）の包括運営事業者、富山競輪場（富山県富山市）の施設所有者として、株式会社チャリ・ロトによる競輪場運営事業が始まりました。今後も同様に自治体との連携を広げ、市場の拡大とともに、日本全体の地域活性化と地方創生に貢献していきます。

“地域活性化と地方創生に貢献”



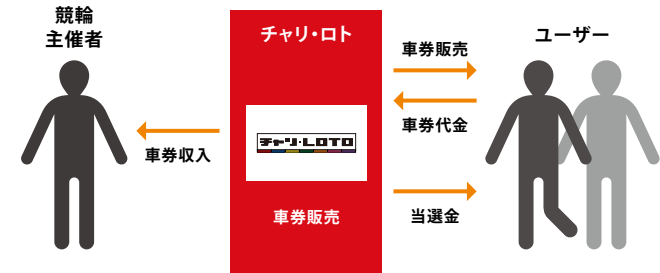
No.1競馬サイト「netkeiba.com」

### 「ネットドリーマーズ」サービス概要



オンライン競輪・オートレース投票サイト「チャリロト.com」

### 「チャリ・ロト」サービス概要







千葉ジェッツ

## その他ビジネスの事業成長

2019年のラグビーワールドカップの盛り上がりを見てもわかるように、スポーツほど、一度に多くの人々を元気にする

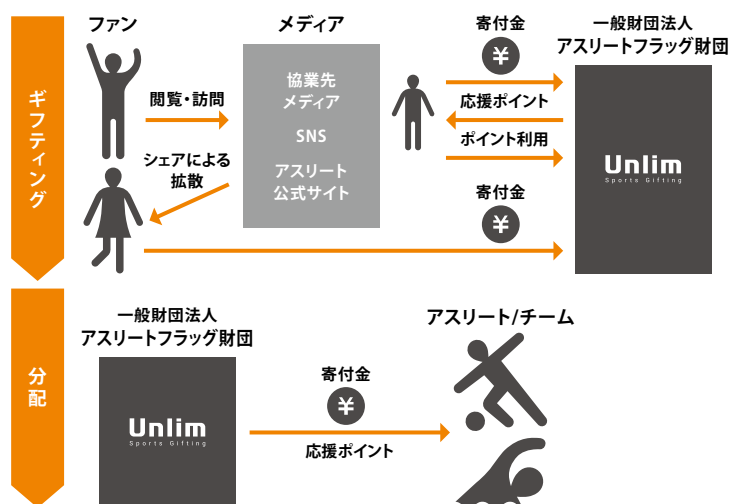
# “スポーツ ならではの 価値を 社会に”

ものはありません。みんなで共感し喜び合うことで、日々の生活へのモチベーションが高まり、より豊かで健康的な人生につながっていく。こうした姿を思い描きながら、スポーツならではの価値を社会に広めていきます。

当社はB.LEAGUEの千葉ジェッツに加え、FC東京、東京ヤクルトスワローズの中長期的な成長をサポートしてまいります。また、2020年2月にリリース

した「Unlim (アンリム)」を通じ、スポーツ文化の発展を経済面から支える事業にも関わってまいります。

### 「Unlim」サービス概要



スポーツギフトサービス「Unlim」

## 成長を支え続ける企業文化

当社グループは、ユーザーにサプライズや喜びを与えるものづくり、サービスづくりに強い思いを持つ人材の集まりです。ミクシィの典型的なエンジニアは、多能工のようにSNSメディアにもゲームの開発にも映像関連の新技术にも自発的に関わり、ものづくりの面白さを感じながら、かつてないサービスを徹底追求しています。人材が主役となって醸成してきた創造的な企業文化を、事業拡大に伴って新たに迎え入れた仲間たちとも共有し、新しいコミュニケーションサービスを常に生み出し続けることで、持続的な成長を目指します。

## 新型コロナウイルスの影響と今後

新型コロナウイルス感染症の拡大により、世界経済や消費者の心理・行動は大きく変化しています。

コロナ禍での外出自粛で家族や友人と会うことが難しくなり、今までの当たり前が崩壊し、社会に大きなストレスをもたらしています。そんな環境において、皆さまに憩いを与えるエンターテインメントの必要性を改めて感じています。

しかしながら、まだオフラインでしか楽しめないようなエンターテインメントも数多く残っております。それらに対し、我々の持つエンターテインメントのノウハウと、IT技術

を駆使することで、デジタルトランスフォーメーションを推進し、多くのお客さまに届けることができると考えています。「今こそ、エンターテインメントやコミュニケーションを得意とするミクシィグループが日本を、そして世界を元気づける時」との想いを込めて、グループ一丸となって皆さまの想像や期待を超えるコミュニケーションサービスの創出に挑戦していきます。

ステークホルダーの皆さまにおかれましては、今後ともご支援くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。



2020年7月  
株式会社ミクシィ  
代表取締役社長

木村弘毅

